



仙台大学

仙台大学DX人材育成プログラム

取組概要

体育系大学での情報教育の充実化

全学生を対象とした情報関係科目を履修することで、数理・データサイエンス・AIの認識を高めて、AIの倫理や社会における重要性を理解し、主体的に活用できる教育を実施する。

※「情報処理」(2単位), 「教養数学」(2単位)

定期的なカリキュラムの検討と改訂を行うことで実社会に即した教育を実施する。

※【新設】「アルゴリズムとプログラム」(2単位)

※【新設】「情報ネットワークとセキュリティ」(2単位)

研究設備との連携



スポーツ生理学実験室



映像スタジオ



各種測定室

- ・体力・筋力測定
- ・介護ロボット
- ・栄養管理
- ・映像撮影・解析・編集や送出

体育系大学としての「教養教育」

各学科のカリキュラムのうち、「基礎科目」という範疇に属しており、体育系大学としての学士力の獲得と定着を目指している。

※本学オリジナル科目として「導入演習」(2単位), 「学習基礎教養演習」(2単位), 「体育系大学の基礎教養」(2単位), 「仙台大学の専門教養演習」(4~6単位)を設定

スポーツを軸として、多様化が進んでいく社会で活躍できる人材の基盤を作る目的でスポーツ以外に様々な分野の素養を身につけることができる。

学びのサポート



ラーニング・コモンズ



オフィスアワー



GoogleAPPとLMS

- ・学修設備の拡充
- ・相談体制の確保
- ・授業外、自宅の機会を活用

体育系大学での数理・データサイエンス・AIに対応できる人材の育成



栄養・健康・体力自己管理システムの導入

学生食堂での喫食から得られる栄養情報、健康診断やInBody測定等から得られる健康情報、文部科学省体カテストの実施等から得られる体力情報、これらをすべての学生が自らの身体情報を収集・分析することができるシステムを実用している。これらの蓄積データを研究等に活用することも可能である。